月潟祭催物案内

協賛行事

六月二十三日

①タルミコシ・山車（大別当子供会、朋の会、新二三会、住吉会、むつき会、若獅子会、若駒会、新友会）午後三時～

②民謡流し（商工会）午後八時～

六月二十四日

①タルミコシ・山車（二十三日と同じ）

②剣士会奉納試合（月潟剣士会）午後一時～

③土田演芸団興行、午後二時～三時及び四時～五時

④太鼓（月潟太鼓）、角兵衛獅子の舞（角兵衛獅子保存会）三時～四時

⑤民謡流し（午後八時～、但し二十三日雨天の場合）

六月二十五日

①月潟小学校トランペット隊パレード　午前十時～

②土田演芸団興行　午後二時～五時

③タルミコシ・山車（二十三日と同じ）但し、二十三日、二十四日どちらか雨天時の場合実施。

臨時露店市場

六月二十三日～二十五日（但し二十三日は午後五時より、植木市が主体）

歩行者天国

六月二十三日
午後五時～十時まで
六月二十四日
午後一時～十時まで
六月二十五日
午前十時～午後十時まで

◎連絡本部
祭期間中は、警備本部、祭連絡本部を月潟集落開発センター（電三七五－四二五二）に設置いたします。

交通死亡事故ゼロ二千日記念入賞作文

平和な村を作るために

月潟小学校六年　登石千華

私は、人なみ以上に交通事故にあわないように注意しているつもりです。特に弟を連れている時は、左右を何回も確かめて、遠くに車が見えるだけでも、通り過ぎるのを待ちます。

それは、妹をピアノに送って行く途中、いっしょについてきた弟が急に道路に飛びだして、車にはねられたことがあるからです。私と妹は、びっくりして、泣いてしまいました。まわりで見ていた人も「あんなに小さいのに、かわいそうにねえ」などと言っていました。私は「ゆめだといいなあ」と、何回も思いました。

弟は、脳に少し傷がつき、その後遺症が残るかと、とても心配でした。

弟の入院したとなりのベッドの子も、弟と同じで、車にはねられた子でした。でも、弟より何倍も重症で、手足を動かす事も、しゃべる事もできなくなってしまったそうです。その子も、もちろんかわいそうでしたが、弟も、とてもかわいそうでした。でも、交通事故にあえば死ぬ人だっています。だから二度と交通事故には、あいたくありません。でも、私だけが交通事故にあわないように気をつけていてもだめだと思います。

歩いている人は、道路を横切る時、左右を何回も確かめて、手を上げてわたる。自転車に乗る人は、手信号を忘れずにやる。車に乗る人は、車の乗り方に注意して、信号無視を絶対やらないなど、いろいろな規則をそれぞれの立場で必ず守るようにすれば、交通事故を、うーんと減らす事ができるのだと思います。

お母さんは、「よっちゃんもかわいそうだけど、飛びだしてけがをしたのだから、事故を起こした人にも、申しわけがたたない事をした」と言っていました。事故を起こした人は何回も、おわびにきました。

事故にあった人も、事故を起こした人も、また、家族のみんなも心配して、不幸になります。このような事故は、絶対になくさなければなりません。

月潟村の交通死亡事故ゼロ二千日達成は、すばらしい事だと思います。この日をどんどんのばしていけるように、みんなで注意していこうではありませんか。

■子供の水難事故■

事故の六割が夏に発生

夏になると、海や川に行く機会が増えますが、水難事故には十分気をつけたいもの。特に、夏休みの時期は、毎年、子供の水の事故が目立ちます。

昨年一年間で"水の犠牲"になった中学生以下の子供は四百六十九人。このうち、六月から八月までの三か月間に、全体の六割近い三百六十七人が生命を落としています。

子供を水の事故から守るために、わたしたち大人はどんな点に注意したらいいのか一本格的な夏を前に、もう一度考えてみましょう。

子供の水泳や水遊びには大人が必ず同伴しよう

子供の水難事故の六割以上が、子供たちだけで出かけた際に発生しています。子供の水泳や水遊びには、必ず保護者か信頼できる大人が同伴するようにしましょう。

家の近くの危険な場所を再点検

昨年の例を見てみると、子供の水難事故の四分の三以上が、安全措置を怠っている所で発生しています。

自宅付近の河川や用水路、溜池などを再点検し、安全策のとられていない所には、管理者に申し入れて、ふたや柵を設けたり、危険を知らせる立て札を立ててもらうようにしましょう。

雨降り後は特に注意を

雨が降った後は、川や用水路の水かさが増すばかりでなく、水の流れも速くなりたいへん危険です。子供が近づかないよう特に注意が必要です。

交通安全について

月潟中学校三年　土田匡志

「交通安全」といってもなかなかたいへんなことです。

歩行者が気を付けていても、ドライバーが悪ければ事故が起きる。逆にドライバーが気を付けていても、歩行者が悪ければ、また事故が起きる。

だから、たとえ自分だけ注意しても、交通事故というものはなかなか防げません。すべての人が注意しなければだめなのです。

僕の住んでいるこの月潟村、「交通死亡事故」がないということは、素晴らしいことだと思います。なかなかできることではありません。

月潟村は面積が小さいから、事故が起きる確率が少ないといえば、それもあるかもしれませんが、だれか一人でも注意していない人がいれば、必然的に事故が起こってしまうはずです。「死亡事故ゼロ二千日達成」これはやはり、村の人達が互いに注意したからこそ、できたことだと思います。

交通事故というのは、とても悲惨なことです。間違えば死を招きかねません。とても恐ろしいことだと思います。

交通事故のために多くの不幸が起こっています。身体の自由を失ったり、あるいは一家の大黒柱をなくし、経済的に困る家庭ができたりします。なによりも、自分の家族、身内をなくすことはとても悲しいことです。交通事故のために、たくさんの人が苦しんでいるのです。こんな不幸をなくすためにも、交通事故をなくそうと思う一人一人の心が大切なのではないでしょうか。不幸がおきてからではおそすぎます。ちょっとした気の油断から、自分だけではなくいろいろな人に迷惑がかかってしまうのです。だから事故は絶対に起こしてはいけないのです。

自分自身は、そんなに注意しているわけではなかったのですが、これからは気を付けようと思っています。今思うと、これまでに、ヒヤッとする場面にでくわしたことも何回かありました。何事もなかったからよかったものの、もしなにかあったらと思うとゾッとします。交通事故のために、死にたくはありません。だれもがそうだと思います。みんなが自分の命を大切に思う心を持ち、危ないと思ったことはしてはだめなのです。

月潟村はとてもいい村です。交通死亡事故がない市町村なんて、他にはなかなかありません。これからも無事故の日数が続くようにみんなで注意して、安全に心がければいいと思います。

事故は絶対に起こさない。これだけを守ればいいのです。この気持ちをみんなが持って毎日毎日心がけていれば、永久に事故は起きないはずです。

これからも、月潟村が安全で住みよい村であることを願っています。